国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

平成２８年　５月３１日
東 北 地 方 整 備 局

高瀬川水系、赤川水系及び米代川水系における想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域等の公表について

～的確な避難行動につながる防災情報の周知～

国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づき、関係機関と連携して、ハード・ソフト一体となった減災の取組を進めているところです。
減災の取組の一環として、市町村長による避難勧告等の適切な発令や住民等の主体的な避難に役立つよう、高瀬川水系、赤川水系及び米代川水系において、想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域や家屋倒壊等氾濫想定区域を公表しました。

平成 27 年の水防法改正を踏まえ、これまでの洪水浸水想定区域※1 を見直し、公表しました。洪水浸水想定区域等を公表した水系は、別紙のとおりです。

洪水浸水想定区域等をご覧になるには、東北地方整備局河川部水災害予報センター、高瀬川河川事務所調査課、酒田河川国道事務所調査第一課及び能代河川国道事務所調査第一課において縦覧しているほか、ホームページ（URL は別紙に記載）で公表しておりますのでご参照下さい。

【効果】

今回の公表では、想定し得る最大規模の洪水により浸水が想定される区域と深さに加え、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域を示した家屋倒壊等氾濫想定区域※2 も公表しています。これらの情報により、市町村長による避難勧告等の適切な発令や住民等の主体的な避難の取り組みが進むことが期待されます。

洪水浸水想定区域等は、浸水区域に含まれる市町村に通知され、当該市町村は今後、「早期の立退き避難が必要な区域」を示した洪水ハザードマップを作成することとなります。

※1　洪水浸水想定区域とは

水防法第 14 条第 1 項の規定により、対象とする河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域です。平成 27 年水防法改正では、洪水浸水想定区域の前提となる降雨を、従前の河川整備の基本となる計画降雨から想定最大規模の降雨に変更し、今後、全国の河川で見直しが行われます。

※2　家屋倒壊等氾濫想定区域とは

一定の条件下において、家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域です。

発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、八戸市政記者クラブ、三沢記者会、酒田記者クラブ、鶴岡記者会、エフエム山形、酒田エフエム放送、秋田県政記者会、能代記者クラブ、大館記者クラブ、北秋田記者クラブ

＜浸水想定区域全般に関するお問い合わせ＞
国土交通省　東北地方整備局　河川部　水災害予報センター　　TEL：022-225-2171
水災害予報センター長　菊地　裕光　（内線：3521）
水災害対策専門官　清水野　豊　（内線：3522）
＜各水系に関するお問い合わせ先＞
別紙のとおり

別　紙

平成28年 5月31日時点
東 北 地 方 整 備 局

公表水系一覧

水系名	閲覧場所 ・ HPアドレス	
高瀬川水系	東北地方整備局　河川部 http://www.thr.mlit.go.jp/	宮城県仙台市青葉区本町3－3－1 仙台合同庁舎B棟
赤川水系		
米代川水系		

事務所

水系名	閲覧場所 ・ HPアドレス	
高瀬川水系	高瀬川河川事務所　調査課 http://www.thr.mlit.go.jp/takase/	八戸市石堂三丁目7-10
赤川水系	酒田河川国道事務所　調査第一課 http://www.thr.mlit.go.jp/sakata/	酒田市上安町一丁目2-1
米代川水系	能代河川国道事務所　調査第一課 http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/	能代市鰄渕字一本柳97-1

＜各河川に関するお問い合わせ先＞

【高瀬川水系】　国土交通省東北地方整備局　高瀬川河川事務所　　TEL：0178-28-7135
副所長（技術）　田川　和義　（内線：204）
調査課長　湯川　茂夫　（内線：351）

【赤川水系】　国土交通省東北地方整備局　酒田河川国道事務所　　TEL：0234-27-3331
副所長（河川）　高橋　一　（内線：204）
調査第一課長　川口　滋　（内線：351）

【米代川水系】　国土交通省東北地方整備局　能代河川国道事務所　　TEL：0234-27-3331
副所長（河川･ダム）　中島　勇一郎（内線：204）
調査第一課長　舘山　悟　（内線：351）